

2022 年 10 月 4 日

商品に使用している紙ハンガーをリサイクルする取り組み開始



無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都豊島区／代表取締役社長 堂前 宣夫）は、資源の循環、廃棄物の削減を目指し、商品に使用している紙ハンガーを店頭で回収し、リサイクルする取り組みを 10/11(火)より開始します。

■ごみの削減を目指す

良品計画は、提供する商品、サービス、活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。環境への取り組みの指標のひとつとして、2030 年「包材・資材の脱プラスチック 100%」^{※1}を掲げ取り組んでいます。この一環として衣服・雑貨に関して、2019 年からプラスチック製だった陳列用ハンガーやフックを再生紙に順次切り替えてきました。今年の秋冬の商品から、紳士・婦人肌着の全商品も紙ハンガーへと変更し、包材・資材の脱プラスチックを進めます。

さらに紙ハンガー・フックの回収およびリサイクルを行います。無印良品全店舗（Café&Meal MUJI、IDÉE は除く）のレジや店内に設置する回収 BOX で回収します。回収したハンガーやフックは、工場で溶解して紙に再生したのち加工し、当社の一部商品の紙ハンガーに活用する^{※2}ことで、これまでご家庭でごみとなっていた資源の循環を図ります。

今後も良品計画は、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めます。

※1 2021 年 8 月期の衣服・雑貨において包材・資材の脱プラスチックが進んだ商品は全アイテムの 14%。2022 年 8 月期は現在集計中。

※2 再生した紙は他社の古紙製品に使用されることもあります。

お問い合わせ先： 株式会社良品計画 広報・ESG 推進部広報課 rk-pr@muji.co.jp